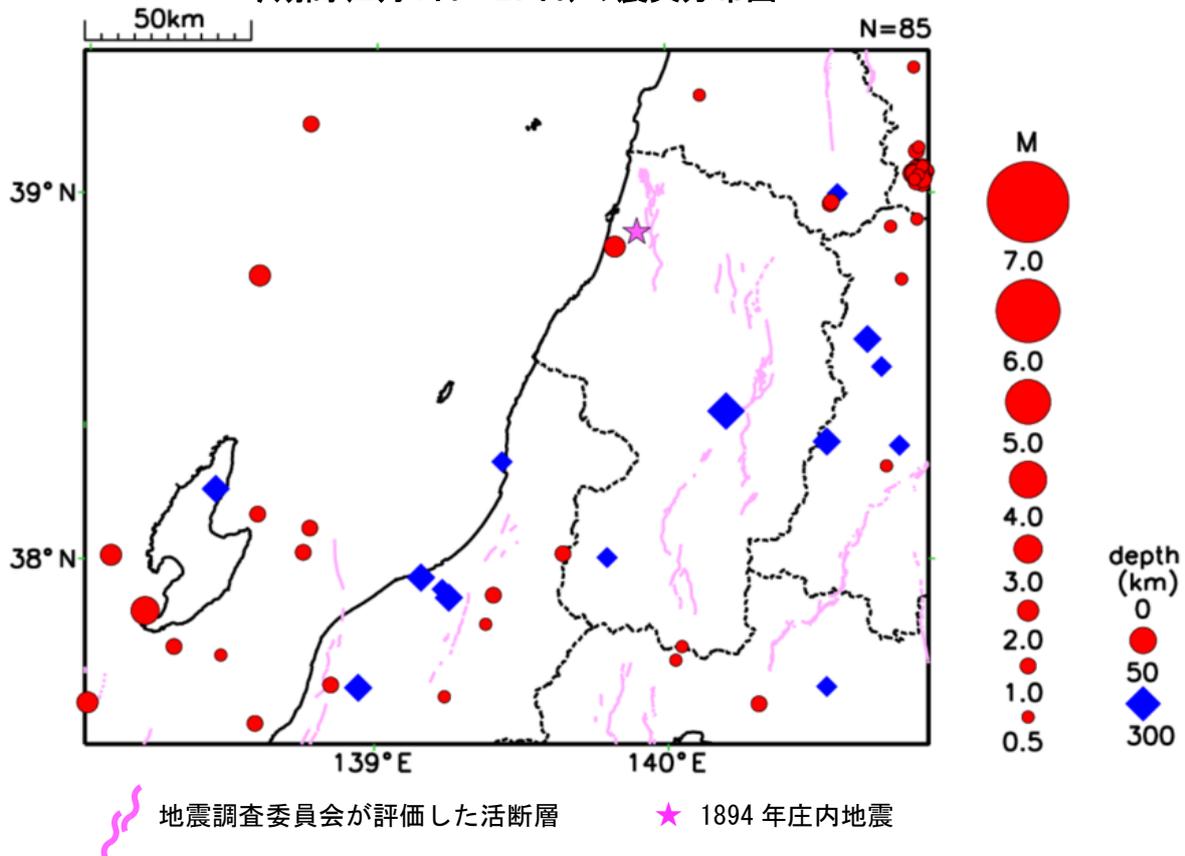


山形県月間地震概況（2025年2月）

山形地方気象台

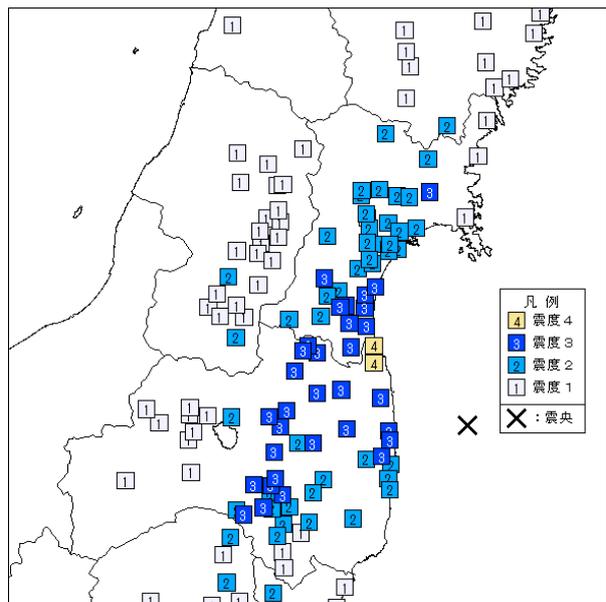
今期間(2月1日～28日)の震央分布図



【概況】

この期間、山形県とその周辺(上図の範囲内)で観測した地震は85回であった。また期間中に県内で震度1以上を観測した地震は3回(前期間3回)であった。

21日22時01分に福島県沖の深さ49kmでM4.9の地震が発生し、福島県相馬市及び新地町で震度4を観測したほか、東北地方、関東地方及び山梨県で震度3～1を観測した。山形県では米沢市、白鷹町で震度2を観測したほか、最上地方、村山地方、置賜地方で震度1を観測した(右図)。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震の震源付近では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」以降、地震活動が活発であり、M5を超える地震がしばしば発生している。

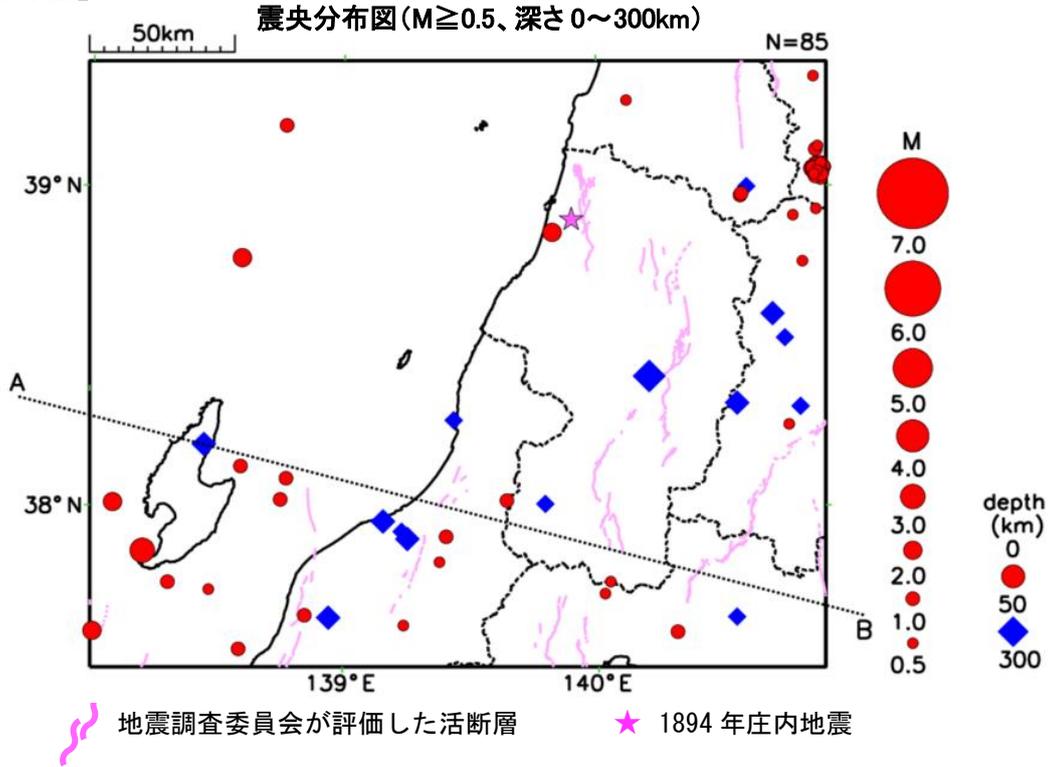


21日22時01分に福島県沖で発生した地震(M4.9)の震央(X)と市町村別震度

※本資料では、地震の規模を示すマグニチュードを「M」として表記している。

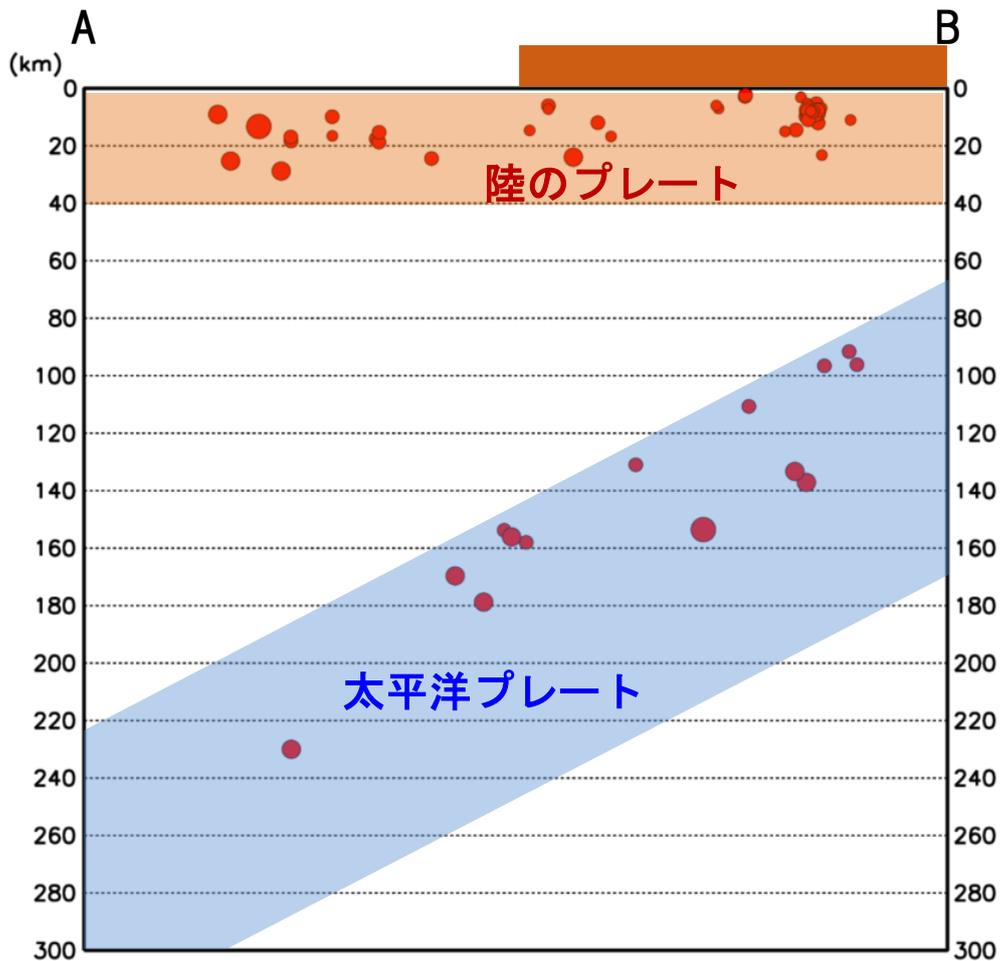
※山形県の各地の震度の詳細は、別紙「山形県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。なお、震源要素等は、再調査により変更することがある。

【震央分布図】



【断面図】

断面図は震央分布図内の震源を直線 A-B(太平洋プレートの沈み込む方向)に投影したものである。



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域ほど、震源の深さ精度は良くない。なお、沖合いの地殻内で発生する地震の震源は、実際はより浅いものが多いと考えられる。

山形県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2025年2月1日～2025年2月28日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2025年02月12日23時37分	岩手県沖	39° 05.6' N	141° 51.5' E	65km	M4.7
山形県	震度 1	寒河江市西根* 寒河江市中央* 村山市中央* 天童市老野森* 東根市中央* 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 河北町吉田 河北町役場* 大江町左沢*			
2025年02月13日06時04分	宮城県沖	38° 21.1' N	142° 02.5' E	52km	M4.9
山形県	震度 1	酒田市飛鳥* 酒田市山田* 遊佐町遊佐 庄内町狩川* 新庄市東谷地田町 新庄市住吉町* 最上町向町* 舟形町舟形* 真室川町新町* 大蔵村肘折* 大蔵村清水* 戸沢村古口* 山形市緑町 山形市薬師町* 寒河江市西根* 寒河江市中央* 上山市河崎* 村山市中央* 天童市老野森* 東根市中央* 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 河北町吉田 河北町役場* 西川町海味* 山形朝日町宮宿* 大江町左沢* 大石田町緑町* 南陽市三間通* 山形小国町小国小坂町* 白鷹町荒砥*			
2025年02月21日22時01分	福島県沖	37° 30.9' N	141° 26.2' E	49km	M4.9
山形県	震度 2	米沢市アルカディア 米沢市林泉寺* 白鷹町荒砥*			
	震度 1	最上町向町* 舟形町舟形* 大蔵村肘折* 戸沢村古口* 山形市緑町 山形市薬師町* 山形市旅籠町* 寒河江市西根* 寒河江市中央* 上山市河崎* 村山市中央* 天童市老野森* 東根市中央* 山辺町緑ヶ丘* 中山町長崎* 河北町吉田 河北町役場* 山形朝日町宮宿* 尾花沢市若葉町* 大石田町緑町* 米沢市駅前 米沢市金池* 長井市本町* 南陽市三間通* 高島町高島* 山形川西町上小松* 白鷹町黒鴨 飯豊町椿*			

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は山形県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

緊急地震速報について

緊急地震速報は、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早くお知らせする情報です。強い揺れが来ることを端的にお知らせし、人が強い揺れから身を守るために活用されています。

令和5年2月1日から長周期地震動階級を発表基準に追加し、長周期地震動による高層ビル内での被害の発生可能性等についてもお知らせする情報となりました。

【緊急地震速報（警報）】

※震度6弱以上または長周期地震動階級4の揺れが予想される場合の緊急地震速報（警報）を「特別警報」に位置づけています。

種類	発表基準	内 容	特 徴
警 報	○最大震度5弱以上が予想された場合（震度4以上が予想される地域に対し発表）	○地震の発生時刻・震源	○原則1つの地震に対して1回のみ発表（比較的規模の大きい地震では複数回発表）
	○長周期地震動階級3以上が予想された場合	○震度4以上または長周期地震動階級3以上が予想される地域（警報の対象地域）の名称	○テレビやスマートフォンなどを通じて広く伝えられ、人が強い揺れから身を守るために活用

列車の運行制御や、工場の機械制御機器等の自動制御をはじめとする多様な地震対策に活用される**緊急地震速報（予報）**も発表しています。

詳細は気象庁HP (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/jishin/eew/index.html>) でご覧ください。

【緊急地震速報を見聞きしたとき】

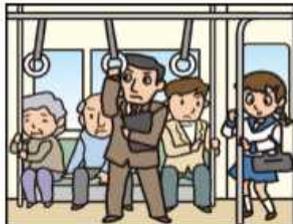
緊急地震速報を見聞きしたときは、まわりの人に声をかけながら「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。



家庭では、頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。
あわてて外に飛び出さないでください。
無理に火を消そうとしないでください。



人がおおぜいいる施設では施設の係員の指示に従ってください。
落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さないでください。



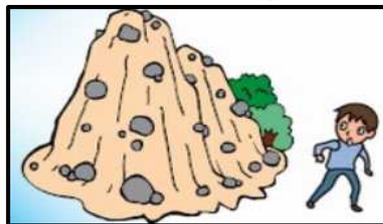
鉄道やバスなどに乗車中は、つり革や手すりにしっかりつかまってください。



エレベーターでは最寄りの階で停止させて、すぐに降りてください。



街中ではブロック塀の倒壊等に注意してください。
看板や割れたガラスの落下に注意してください。
丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。



山やがけ付近では落石やがけ崩れに注意してください。